

令和 7 年度

## 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.20
担当課名	健康福祉課
グループ名	福祉グループ
記入者名	

1 事業概要						
(1)事業名	社会福祉一般事務費			(2)事業種別 (新規・継続)	継続	
(4)第5次総合振興計画での位置づけ				(5)予算・財源等の別		
①基本目標	健康で安心して住めるまち(保健・医療・福祉の充実)			①会計区分	一般会計	
②大項目	地域福祉			②財源区分	町単独	
③中項目	地域福祉の体制づくり			③予算科目	款 3 項 1 目 1	
④施策	社会福祉協議会への支援			④予算事業名	社会福祉一般事務費	
⑤施策コード	5.1.1.2	掲載ページ	79	ページ		
(6)実施根拠				(7)総合戦略		
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務			①総合戦略	一般会計	
②根拠法令・条例等				(該当事業名)	無	
③事業期間	開始	不明	年	月から	終了 未定 年 月まで	
2 事業の目的・内容等						
(1)目的(何のために行うか)				(2)内容(どのような取り組みか)		
地域において町民一人一人が安心して暮らせるよう、町民・町・社会福祉協議会・ボランティア等が連携し、地域で支え合う仕組みの構築を推進していく。				<ul style="list-style-type: none"> <li>小川町社会福祉協議会への補助</li> <li>地域福祉活動を担う人材確保と育成</li> </ul>		
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
全町民 ※地域住民が、民生委員、地域福祉委員等と協働し、支援を必要とする人を支える活動が行えるよう働きかける。				<p>地域での支え合い活動により安心して住み続けられる体制を構築し、地域で問題を抱えている方にきめ細やかな支援が提供できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア登録人数の増加</li> <li>ボランティア登録団体数の増加</li> </ul>		
対象数	27,290	単位	人			
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)						
近年、少子高齢化や核家族化、経済環境の変化、価値観の多様化により、地域福祉を取り巻く環境は大きく変わってきていている。こうした状況を背景として、地域におけるコミュニティの希薄化、子育て、ひとり暮らし高齢者、災害時の避難、介護、生活困窮者など、様々な課題が生じている。これらには、行政だけで解決できない課題が多くあり、今まさに地域住民と町や事業者などで協働した地域福祉のまちづくりが求められている。						
(6)SDGsへの貢献						
   						
3 事業のコスト(実績・決算・予算)				(単位:千円)		
(1)事業(内容) 項目 名称		社会福祉一般事務費				
決算・予算年度		R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6 年度)決算	今年度(R7年 度)当初予算
(2)事業費内訳	直接事業費合計	39,535	40,603	42,436	46,657	50,344
負担金補助金	報酬・期末勤勉手当	950	0	2,728	3,095	1,357
需用費	役務費	65	150	78	57	118
委託料	その他	161	181	204	205	446
内訳	直接事業費合計	193	188	528	441	80
		13	9	140	198	113
		40,917	41,131	46,114	50,653	52,458
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支払金	9	9	9	9	9
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	832	804	3,580	4,000	4,000
	一般財源	40,076	40,318	42,525	46,644	48,449
	合 計	40,917	41,131	46,114	50,653	52,458
(4)補助金名						
(5)人件費						
投入職員数	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	
年間人件費	1,526	1,508	1,504	1,554	2,410	
(6)総事業費	42,443	42,639	47,618	52,207	54,868	
サービス量(人)	28,494	28,046	27,774	27,290	27,290	
サービス単価	1.5	1.5	1.7	1.9	2.0	
(単位)	千円/町民一人当たり					

4 指標の検証		社会福祉一般事務費			
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)					
指標名	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
	目標値				
	実績値				X
	達成率				X
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)					
指標名	社会福祉協議会のボランティア登録 人数(総振目標指標p80) R7年度目標値 80人	目標値 人	80	80	80
	実績値 人	37	38		X
	達成率 %	46.3	47.5		X
	社会福祉協議会のボランティア登録 団体数(総振目標指標p80) R7年度目標値 33団体	目標値 団体	33	33	33
	実績値 団体	25	26		X
	達成率 %	75.8	78.8		X
(3)その他指標に現れない成果					
5 事業評価					
(1)項目別評価					
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他( )
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他(社会福祉協議会を財政的に支援することで地域福祉の推進が期待できる)
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他( )
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他( )
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おむね公平に分配されている 3 その他( )
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他( )
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他( )
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)					
ボランティア団体の構成メンバーが高齢化してきている団体があり、今後、活動の継続が課題となってくる。近年は70歳を過ぎても働いている人も多く、ボランティア活動への関心はあっても積極的に参加するところまでつながる人は多くない。人材確保・育成のためボランティアの活動紹介とメンバー募集等の機会提供の援助が必要と思われる。					
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合			
評価主体	評価	評価についての説明			
(1)一次評価 (担当課長)	2 現状維持	地域福祉における社会福祉協議会の役割は大きく、今後も町と連携を図りながら取り組んでいくことが求められる			
(2)二次評価 (政策推進課長)					
(3)最終評価 (町長)					